



OSAKA JAPAN

..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
会長:水谷善博 幹事:延秀恵 会報委員長:内田正

2011年5月10日 第996回例会(第995号)

本日の例会

今週の歌 「君が代・奉仕の理想」

卓話 「ロータリーソング勉強会」

栢本淑子 会員

次回例会のお知らせ(5月17日)

卓話 「クラシックギター演奏」

クラシックギタリスト

永田参男 様

(田中(弘)会員紹介)

前回〔4月26日〕例会記録

来客

山川英幸 様

(卓話者・AGCグラスプロダクツ(株))

佐川昌伸 様(卓話者補佐)

内園哲治 様()

会長の時間 水谷 会長

皆様こんにちは。東日本大震災が3月11日に起こり、福島第1原発の事故も現在も未だに進行中で、心配なことです。1号から4号までの、水素爆発での建屋がフツ飛び、その時に、放射能がもれだし、30kmの避難者は、いつ帰れるか判らず気の毒な事です。

東京電力、経済産業省原子力安全・保安院、内閣府原子力安全委員会、厚生労働省等、情報の指揮系統のバラバラで私達は心配です。ここで放射能を正しく恐れようと、福島県の放射能健康リスク管理アドバイザーについた、長崎大大学院教授山下俊一、

出席報告 田畑 委員長

【4月26日】
在籍会員 40名(内出席規定適用免除者 9名)
出席会員 26名(内出席規定適用免除者 5名)
ホームクラブ出席率 72.22%

4月5日のMUを含む出席率 97.30%

高村昇両先生の講演がYou Tubeに出ていますので一度ご覧下さい。又、低線量放射療法について、東大稲森宏博士のことを一度ご覧下さい。放射線の線量について、ミリシーベルト、マイクロシーベルト、ベクレルと、ややこしい言葉に私達自身で、正しく理解するようになりましょう。

幹事報告 延 幹事

5月10日(火) 11:00~12:00、新旧合同理事会を開催します。

1,000回記念例会

日時: 6月7日(火) 12:30~14:00(予定)

イベント: 関西大学 落語研究会

” チャリーダーのメンバー

ニコニコ箱

今村 会員 前回欠席のおわび

田中(茂)会員 本日、卓話よろしく。

本日分 15,000円

累計 1,240,000円

関西大学RAC例会出席担当

5月12日(木)・5月26日(木)

Cグループ 金馬、西村、榎谷、栢本

田中(弘)各会員

会場: 中央体育館 図書資料室

時間: 19:00~20:00

私達は他人(ひと)を思いやり 奉仕の理想のもと 地域社会へ貢献するよう 努めます

「これからの住宅」

A G C グラスプロダクツ(株)

山 川 英 幸 様

(田中(茂)会員紹介)



この度の東日本大震災による原発事故は、今後我々原発に頼る訳にはいかない、重大な事故であり、今後原発の新たな建設は不可能であると思われる。これからは原子力にばかり頼っていた今までのぜい沢三昧の生活も見直す時期に来ているようです。

これからの住宅で一番求められる要素は、安心安全で健康的な住宅だけでなく、電力を余り消費しない省エネルギー住宅が求められる時代になってまいりました。今までのように、暑ければクーラー、寒ければ暖房をつければよいという時代でなくなってきました。

省エネ住宅といえば、今までは、高气密高断熱住宅でしたが、断熱材は熱の伝わるのを遅らせるだけで、必ず熱は伝わってしまいます。

これからは、「断熱」から「遮熱」の時代といわれています。

遮熱とは、熱を遮ることで、外部からの輻射熱(太陽光)は外側に反射させ、又内側からの輻射熱(暖房熱)は内側に反射させ、内外の熱の移動を無くすことにあります。

又、外気30度でも、ジリジリ汗が出るほど暑い日でも、木陰に入ると涼しく感じます。それは、太陽からの輻射熱が人体に照射されることによって、体自体が温まってしまうためです。日陰に入ると、輻射熱がカットされるため涼しく感じます。

このように私達が暑さを感じるのには、実は温度によるものよりも、輻射熱の量によるものが大きいのです。

今日まで住宅の省エネ化といえば、窓ガラスをペアガラスにすることで良いと思われていましたが、これからは、ペアガラスの内側に特殊金属膜をコー

ティングした高遮熱・断熱Low-Eペアガラスにされる割合が増えてきました。このLow-Eペアガラスは、単板ガラスより遮熱性は2倍位になります。

建物全体の省エネ性能を上げるには、窓ガラス以外に壁、天井、床なども、遮熱・断熱しないと夏涼しく冬暖かい建物にはなりません。

今注目されているのは、特殊なアルミ製の「遮熱シート」(トップヒートバリアー)を天井裏に張ることにより、建物内を通過する熱をカットします。これにより夏は木陰にいるように涼しく、冬は冷たい外気をカットしますので室内は暖かく保たれます。年間の光熱費の40%位は省エネになるといわれています。

(ガバナー月信5月号より)

東日本大震災義援金に対する御礼

東日本大震災で被害に遭われた方々を救援するため、地区内のロータリアンの皆様に義援金のお願いいたしましたところ、4月11日の第1回締切りで総額が57,331,594円となりました。地区内の各クラブからだけでなく、台湾、韓国、タイ、ドイツの方々からも義援金が寄せられました。皆様からの義援金は4月12日にガバナー会に送金いたしました。義援金は被災地区のガバナーに配分され、被災者救援に活用されます。

皆様のご理解とご協力に深く感謝いたします。

なお、第1回の締切り後も義援金の受付をいたしますので、引き続きご支援をお願い申し上げます。

国際ロータリー 第2660地区

ガバナー

松本 新太郎

社会奉仕委員会 委員長 表 寛 治

ガバナー会からの報告(2011年4月11日付)

1. 4月11日までに集まった義援金の総額は491,621,786円です。
2. 義援金のうち、見舞金として当該ガバナー宛に下記の金額を送金しました。(4月4・5日)
 - ・第2520地区(岩手・宮城)に5,000万円
 - ・第2530地区(福島)に3,000万円
 - ・第2820地区(茨城)に1,000万円
 - ・第2550地区(栃木)に500万円
 - ・第2790地区(千葉)に500万円